

獅子の霊巖でのかわらけ投げ

「獅子の霊巖」は屋島で最も人気のある景勝地のひとつだが、訪れる人を魅了するのは、高松や瀬戸内海を見渡せる絶景だけではない。

ここでは「かわらけ投げ」と呼ばれる遊びに参加することができる。展望台の下、樹海のすぐ上には、ワイヤーで吊るされた金属製の輪がある。環境にやさしい小さな陶器の皿を尾根から海に投げ入れるというものだ。輪っかの中に入っても、遠くまで飛んでも、うまく投げられれば幸運と魔除けの効果があると言われている。

これは、源氏が屋島の戦い（1185年）で勝利した際、武士たちが丸い兜を空中に投げて祝ったことに由来すると言われている。輪っかは最近になって付けられたもので、照準を合わせるためのものだ。獅子の霊巖の近くでは、地元で作られた皿をパックにして販売しており、観光客が投擲の腕を試すことができる。